

2025年12月議会(最新)一般質問

一般質問①

社会課題の変化に適応した住環境整備の充実を求める (リフォーム支援・空き家対策・置き配ボックスなど)

日野市の住環境を整備する支援メニューは、社会課題の変化に柔軟に対応できているか?をメインテーマに、3点に渡り、日野市の姿勢を質しました。



① 耐震化支援による「防災・減災」のまちづくりの促進。特に2000年の耐震基準改正以前の木造住宅の支援メニュー拡充は?

(日野市)⇒令和7年度中の耐震改修促進計画を改訂検討で、次期計画の期間中に制度創設に向けて一定の方向性を示す。

② 生産年齢人口を日野市へ誘導する方策に、もっと力を入れよ!二世代同居・三世代近居へのリフォーム含めた経済的支援を掲げよ!

(日野市)⇒今後の調査研究課題
(島谷)⇒日野市出身者が他自治体を選択する前に支援メニューを充実させる等、子育て・働く世代への誘致に戦略を!!

③ 物流現場の実情について。再配達を撲滅する社会課題に、日野市の課題認識は?

(日野市)⇒現場実態を把握し効果性の高い施策を検討するため、関係諸団体との意見交換からスタートしたい。
(島谷)⇒物流現場の課題に自治体の責務として向き合うべき。日野市内の再配達率は高い。公共施設に宅配受け取りボックス設置など市民生活の動線を意識した施策展開を!

これまで策定してきた計画と、現在の生活スタイルや価値観、社会課題と将来不安など、変化に対し柔軟に対応するよう、政策提言いたしました。

一般質問②

地方公共団体の議会解散に関する特例法に基づき、約3年後の市長選挙と市議会議員選挙の同時開催を議会力で実現しよう

日野市は同一年度内に春(4月)市長選挙、冬(2月)の市議会議員選挙が執行されております。

市長選挙と市議会議員選挙を同日執行が実現すれば様々なメリットが!

- 議会の審議機能向上
- 投票率向上
- 選挙に要する経費の削減と他リソースへの転換
- 投票作業による施設占有が少なくなるなどなど…

他にも受験シーズンなのにうるさい騒がしいと、感じる市民も多いのではないでしょうか?

<参考>

4月執行の市長選挙、市議会議員補欠選挙に係る費用と職員の労務管理状況について

- ・延べ778人、従事時間数は5,081時間、人件費としては約2,000万円
- ・市議会議員補欠選挙は同日のため市長選挙対応の人件費で相殺される。約5,000時間は、1人一日8時間の労務設定を月20日間出勤で換算すると、1ヶ月160時間として、31.25人/月、年間約2.5名分の業務量が選挙対応で消費されており、同日選挙が実現すればこの業務負荷を他リソースに充てられます!!

選挙に係わる費用全般も物価高騰の影響を受けています。

- ・市議会議員選挙
R3年度 約7,000万円 ▶ R7年度(見込み額) 約1億1,600万円

選挙に係る費用全般にも物価高騰の影響が。



皆様、どうお感じになるでしょうか?
実現に向けて、島谷ひろのりは引き続き取り組んでまいります!



議会レポート

2025・特集号

No.32

しまや 島谷 ひろのり

日野市議会議員 無所属



現場の声を政策へ! 島谷ひろのり 2期目4年間の取り組み

日頃より温かいご支援とご理解を賜り、心より感謝申しあげます。本レポートでは、島谷ひろのりが2期目4年間にわたり、市民の声を起点に議会で重ねてきた提言と、その成果を総括しています。子育て・教育・福祉・地域活性・公共施設・財政再建など、暮らしに直結する課題に粘り強く向き合い、制度や仕組みとして形にしてきました。あわせて、直近の12月議会における一般質問についても別途ご報告しています。住環境整備や選挙の同時開催など、将来を見据えた論点を提示しました。これまでの歩みと今後の方向性をご覧ください。

島谷ひろのりの
活動報告はこちちら!



島谷ひろのり 後援会

〒191-8502 東京都日野市富士町1番地 富士電機労働組合東京支部内
TEL. 042-582-3005 FAX. 042-581-0133 mail. shimaya-kouenkai@fujielectric.com

2期目4年間 日野市の明るい未来へ!!

<子育て・教育>

2023年3月(一般質問)

日野市の部活動改革について、教育委員会に問う

実績 文化・スポーツ課所管でスタートした国の実証事業を、地域部活動移行への方向性を後押しし、2024年に教育委員会所管の「ひのスポ・ひのカル」が無事本格スタート!!

2024年9月(政策提言)

学校給食費の公費負担(無償化)を市長に提言

実績 農業者や配達事業者、給食調理者の想いを尊重し「無償化・無料」ではなく「学校給食食材費の公費負担化」で意思統一(恐らく日野市のみ)



<地域活性・福祉施策>

2021年12月(一般質問)

孤独感を抱く高齢者ゼロへ!日野市高齢者見守り支援ネットワーク事業について、問う

実績 高齢者の生きがい、見守り事業へ展開。支援員の増強に粘り強く取り組む!

2024年6月(一般質問)

新制度となる自治会活動補助金で、多くの市民が享受を実感できる“まち”に

実績 自治会補助金と自治会活動支援補助金の創設を後押し。補助金支出の適正化と活発な地域活動につながる。

2025年6月(一般質問)

買物困難者が更に増える前に、本腰を入れた対策を!!(既存店舗支援・店舗誘致等)

実績 GISシステムを活用したエリア分析を提案。公共交通網と市民の動線を評価し、実効性のある戦略に寄与

<公共施設・インフラ・環境>

2024年9月(一般質問)

みどりの量・生長優先の方針から、質の適正化へ。公園・緑地樹木等維持管理計画の策定を急げ!

実績 本質問の数日後に落枝事故が発生。尊いいのちが失われたことも起因し樹木の高木化・過密化・老木化の緊急点検・危険除去対応がスタート。今後、公園・緑地樹木等維持管理計画が策定予定

2024年12月(一般質問)

現場の働き方改革に則した

建設業・バス・タクシー事業への支援策について

実績 休日労務単価見積りが平日扱いとなっていた事務を適正な休日労務単価とするよう是正。2025年第59回日野市産業まつりにて、建設業体験ブースの復活。またバス事業者による人財確保の呼びかけ(1名の雇用実績)子ども職業体験企画の日野版キッザニア(通称「ヒッザニア」)が実現!

<利便性向上>

2023年9月(一般質問)

市民生活の動線から、マイナンバーカードを考える

実績 当時、マイナンバーカードによる印鑑証明書発行が市役所本庁舎で発行不可(コンビニのみ可)という矛盾を是正。発行可能に!!マイナンバーカード紛失時などの窓口相談体制充実を提案

2022年6月(一般質問)

日野市第二次ごみ改革の成果と課題、循環型社会の実現に向けた取り組みを問う

実績 オンラインを活用した粗大ごみ等のリユース促進を実施している「ジモティー」と連携開始



提言の軌跡

<組織改革・議会改革>

2022年3月(一般質問)

風通しの良い組織への変革について、日野市の本気度を問う

実績 コミュニケーションの質と量の向上を図るツールであるビジネスチャットツールの導入やフリーアドレスの導入など予算化され実行に!

2023年3月(一般質問)

日野市のペーパーレス化は進んでいるか?実態を問う

実績 職員の働く環境のDX化推進、また議会でもBOXクラウド導入で議案書は全てペーパーレスが実現(2024年度試行期間、2025年度から電子配布が本格運用)

2024年9月(一般質問)

人材育成基本方針の改訂で、成長実感が得られる組織強化を!

実績 ITパスポートなど最新の資格取得に応じた支援メニューの見直し。2025年12月には報告書提出が必須な研修休暇から「リフレッシュ休暇」に改版



<財政再建>

2022年12月(一般質問)

政健全化に向けた、日野市の本気度を問う

2024年3月(一般質問)

旧来の「管理」体質から脱却し「マネジメント」を重視せよ

実績 財政再建に向けた日野市の業務改革・意識改革を粘り強く質す。

未来に繋ぐ!
政策提言は、まだ道半ば

2023年12月(一般質問)

教育現場のこれからについて
(ICT環境・合同部活動・学校施設の複合化)

!
提言 各中学校間の合同部活動の仕組みにより、子どもたちの成長を後押しします。体育館や校庭などの運動施設以外の学校開放(調理室や音楽室)にむけてルールと施設環境を整えます。

2025年9月(一般質問)

財政非常事態宣言で、日野市の“自浄努力”は発揮されたのか? 総括を問う

!
提言 日野市ならではの魅力「電車区」を活用したふるさと納税企画を提案中!! 財政調整基金残高と繰越金(実質収支)の試算を適正に見直すよう提言(これにより予算+3億円を生み出す)

2025年9月(政策提言)

重層的支援体制整備事業による包摂的福祉体制の構築

!
提言 困りごとが複雑化している昨今、縦割り行政では市民のいのちは守れない。介護・障害・児童・生活など「福祉」部門に横ぐしを指す「福祉政策戦略室」を提案。

地域支援コーディネーターを地域包括エリアごと配置を提案します!



都と市の連携で頑張ります!